

ふくしまが 好きだから ふくしまで 暮らしたいから あなたのそばに私たちがいます



放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターは、 放射線に対する健康不安や心配ごとについてあなたと一緒に考えます

環境省事業 放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター

お電話でもお気軽に ご相談ください 「暮らす_」につながる 放射線リスコミセンター

0120-478-100 9:00~17:00 (土・日・祝日をのぞく)

メール F-sodan@nsra.or.jp

住 所 福島県いわき市平字小太郎町1-6 いわきセンタービル5階

H P https://www.env.go.jp/chemi/rhm/shiencenter/

支援の内容について、 詳しくは放射線リスコミ センターホームページを ご覧ください



こんなギモンや要望の声にお応えします!

放射線に関して分かりやすく情報発信を行いたい

浜通りを車で通過。被ばく線量は?

現在の福島の放射線量ってどれくらい?

里山登山は安心してできる?

お盆に帰省。子供が川や公園で遊んでも大丈夫?



福島第一原子力発電所などの施設見学はできる?

相談は無料です

~暮らすにつながる、放射線リスコミセンター~ 放射線による健康不安の払拭を目的としたご相談に対応します



放射線リスコミセンターでは、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故により 避難指示が出された12市町村を中心に、福島県全域において、放射線による健康不 安の払拭を目的とした相談への対応、専門家を交えた座談会等の場づくりによる支援を行っています。

支援内容について、詳しくは放射線リスコミセンターホームページをご覧ください。 ご相談は、お気軽にどうぞ。



ご相談の流れ

電話、メール等で ご連絡ください 支援内容を ご提案します

支援の実施

※支援の内容により準備や調整に1ヵ月程度 お時間をいただく場合がございます

支援対象者

福島県内外の住民など

- 福島県内にお住いの方
- 福島県内に勤務している方
- 福島県から避難している方
- 福島県外から県内に移住、または訪問を予定している方

自治体職員や相談員など

- 放射線相談員及び生活支援相談員
- ●福島県及び各市町村の職員
- ●住民から相談を受ける可能性のある方 保健医療福祉関係者、栄養士、食品検査員、復興支援員、 官民合同チームの訪問員、教職員、区長や民生委員、 NPO等の民間組織の職員、民間企業の産業保健関係者など